

2020年度決算概要と経営戦略

(2021.7)



株式会社 KVK

CODE 6484

問い合わせ先: 常務取締役経営管理本部長
小関智晶

TEL: 0574-55-0006

e-mail: info@kvk.co.jp

URL : <http://www.kvk.co.jp/>

〔注意事項〕

本資料記載の予想・見通しなどは、当社が資料作成時点で入手可能な情報に基づくものであり、情報の正確性を保証するものではありません。
経営環境の変化などにより、実際の業績は当初の見通しとは異なる可能性があることをご承知おきください。

1. 2020年度通期業績
2. 今後の経営戦略

決算ハイライト (通期)



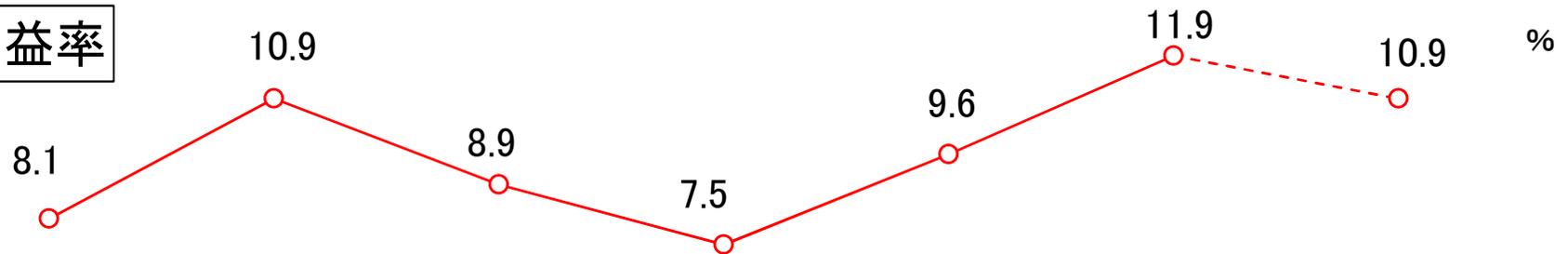
【連結】 (単位:百万円)	2019年度		2020年度		増減	
	実績	売上高比	実績	売上高比	増減額	増減率
売上高	24,531	100.0%	25,441	100.0%	909	3.7%
営業利益	2,345	9.6%	3,034	11.9%	689	29.4%
経常利益	2,523	10.3%	3,117	12.3%	593	23.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,701	6.9%	2,196	8.6%	495	29.1%
EPS	210.69	-	271.82	-	-	-

【単独】 (単位:百万円)	2019年度		2020年度		増減	
	実績	売上高比	実績	売上高比	増減額	増減率
売上高	24,759	100.0%	25,655	100.0%	895	3.6%
営業利益	1,927	7.8%	2,704	10.5%	777	40.3%
経常利益	2,289	9.2%	3,124	12.2%	835	36.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,618	6.5%	2,252	8.8%	634	39.2%
EPS	200.41	-	278.75	-	-	-

業績推移 (連結)



営業利益率

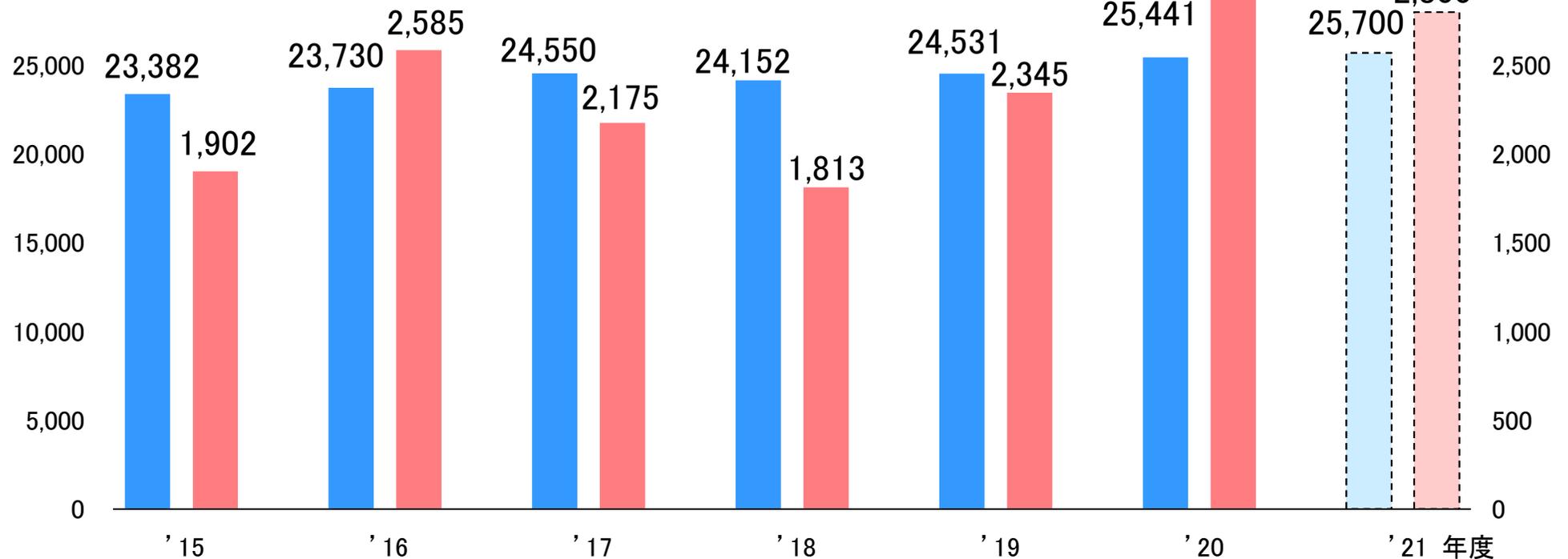


35,000
百万円

■ 売上高 ■ 営業利益

30,000

3,500
百万円



※2015年度より表示方法変更に伴い2014年度について遡及修正

品目別売上高構成比（連結）

KVK

品目別売上高構成比

その他

4,507百万円 17.7%
(4,354百万円 17.7%)



単独水栓

2,651百万円 10.4%
(2,762百万円 11.3%)



当期

前期

当期 254億円
(前期 245億円)

() 前期実績



シャワー付湯水混合水栓

11,977百万円 47.1%
(11,502百万円 46.9%)



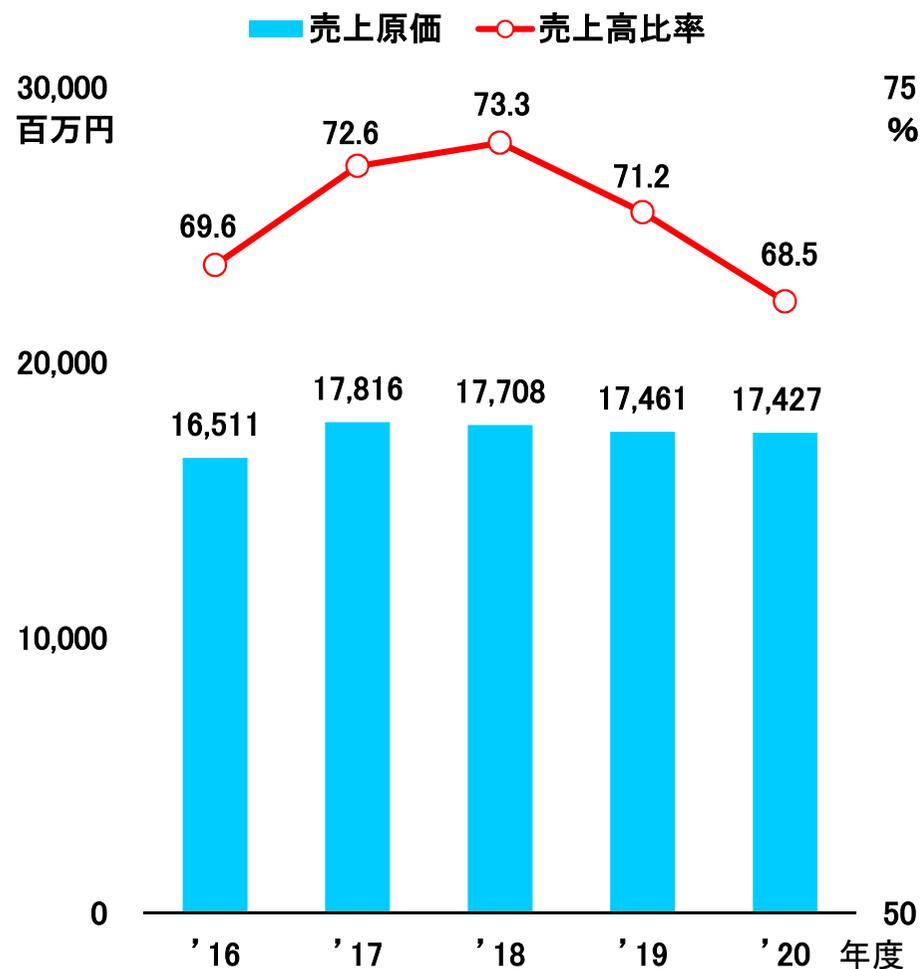
湯水混合水栓

6,304百万円 24.8%
(5,912百万円 24.1%)

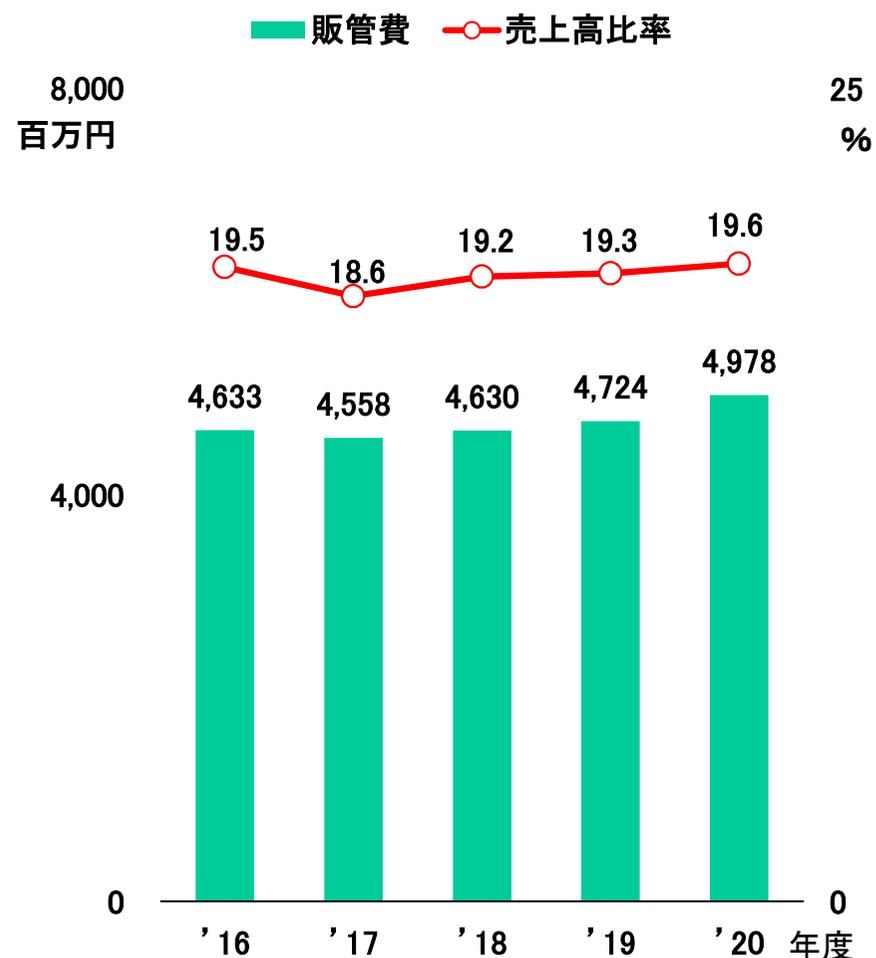
原価率・販管費率 (連結)



原価率



販管費率



貸借対照表 (連結)



資産の部 +3,213百万円

流動資産は、前期末に比べ3,076百万円増加し、19,523百万円となりました。これは主に、現金及び預金、電子記録債権の増加によるものです。

固定資産は、前期末に比べ137百万円増加し、10,960百万円となりました。これは主に、投資不動産の増加によるものです。

純資産の部 +2,304百万円

純資産は、前期末に比べ2,304百万円増加し、21,969百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益の発生に伴う利益剰余金の増加によるものです。

自己資本比率は前期末と同じく72.1%となり、1株当たり純資産額は2,717円94銭となりました。

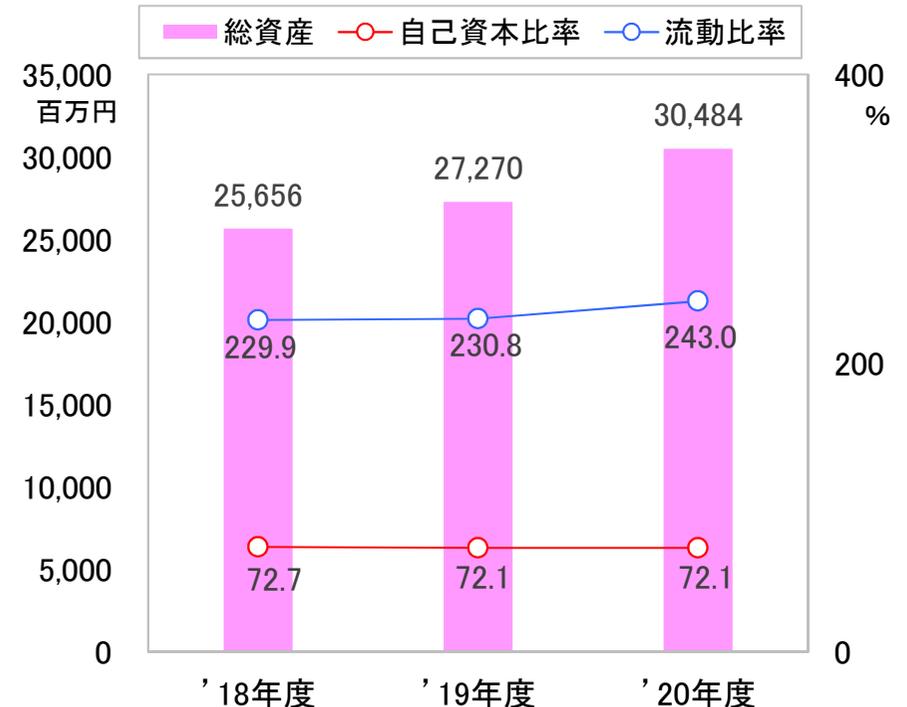


※単位: 百万円 前期末との比較

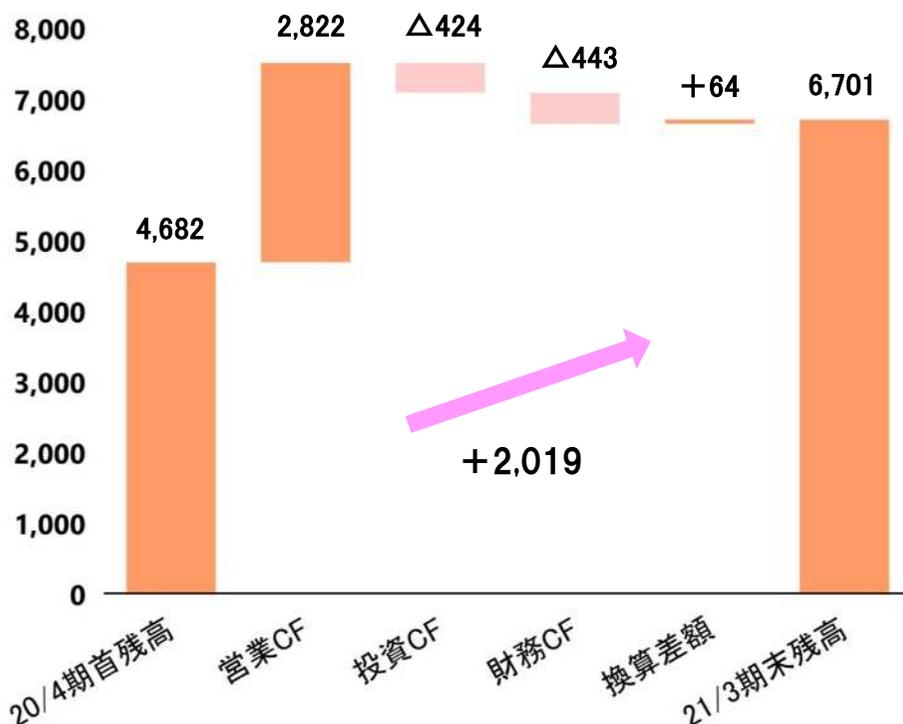
負債の部 +909百万円

流動負債は、前期末に比べ906百万円増加し、8,033百万円となりました。これは主に、電子記録債務、未払法人税等の増加及び製品保証引当金の計上によるものです。この結果、流動比率は前期末に比べ12.2ポイント増加し、243.0%となりました。

固定負債は、前期末に比べ2百万円増加し、481百万円となりました。これは主に、役員株式給付引当金の増加によるものです。



キャッシュ・フロー（連結）



(単位: 百万円)

科目	'20/3	'21/3	増減額
税金等調整前当期純利益	2,465	3,073	607
減価償却費	846	828	△ 18
減損損失	58	28	△ 30
法人税等支払	△ 294	△ 839	△ 544
運転資本	463	△ 605	△ 1,069
その他	285	338	53
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,824	2,822	△ 1,002
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,633	△ 424	1,209
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 440	△ 443	△ 3
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 30	64	95
現金及び現金同等物の増減額	1,720	2,019	299
現金及び現金同等物の期首残高	2,961	4,682	1,720
現金及び現金同等物の期末残高	4,682	6,701	2,019

※運転資本=売上債権の増減額+たな卸資産の増減額+仕入債務の増減額

営業活動によるキャッシュ・フロー

前期に比べ、1,002百万円収入が減少し、2,822百万円の収入となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益、売上債権の増加額、仕入れ債務の増加額によるものです。

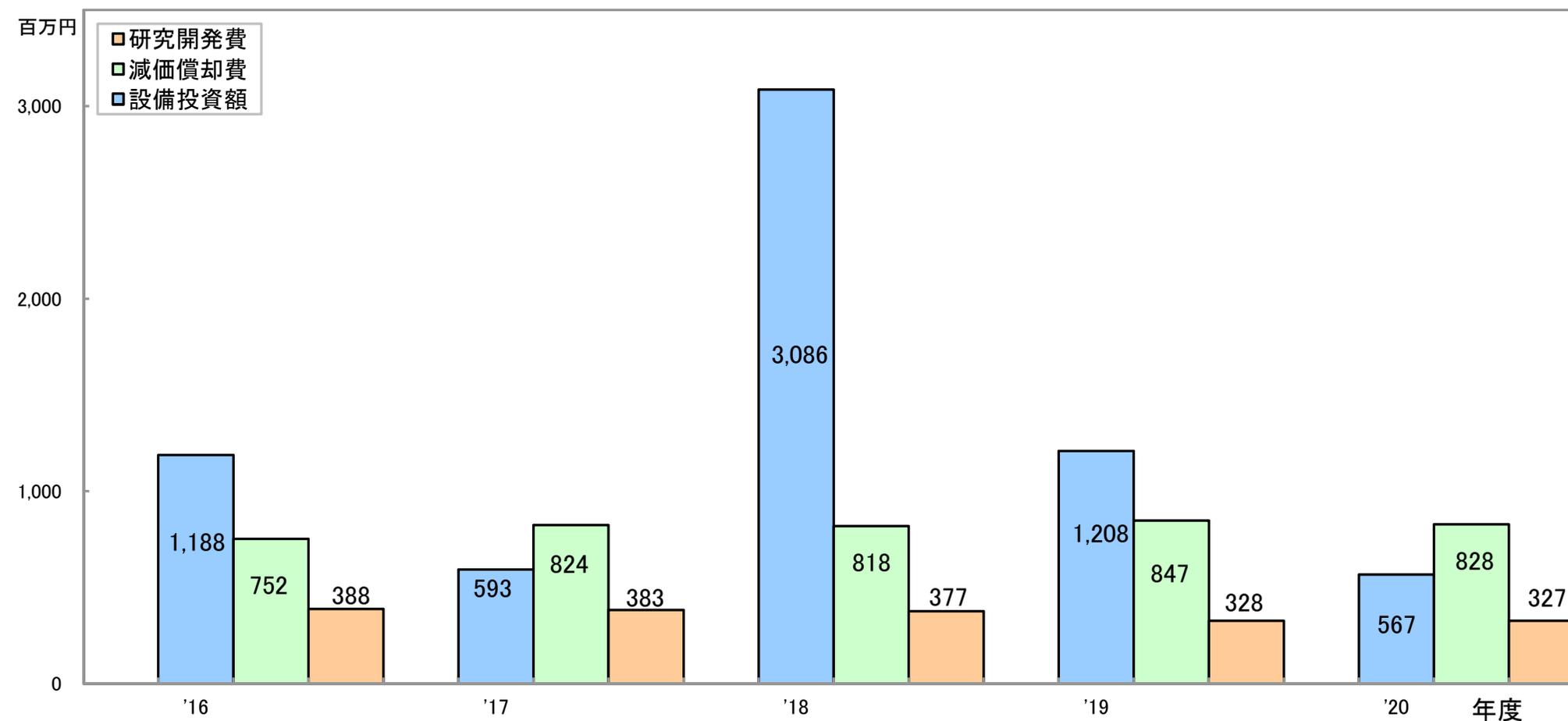
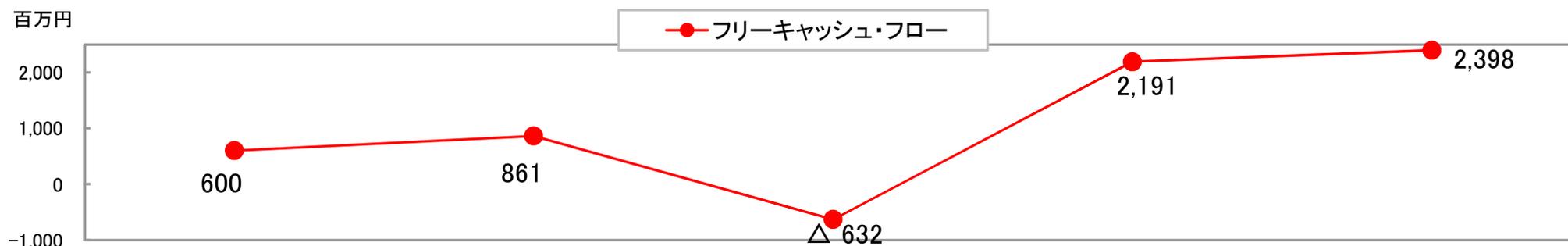
投資活動によるキャッシュ・フロー

前期に比べ、1,209百万円支出が減少し、424百万円の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出によるものです。

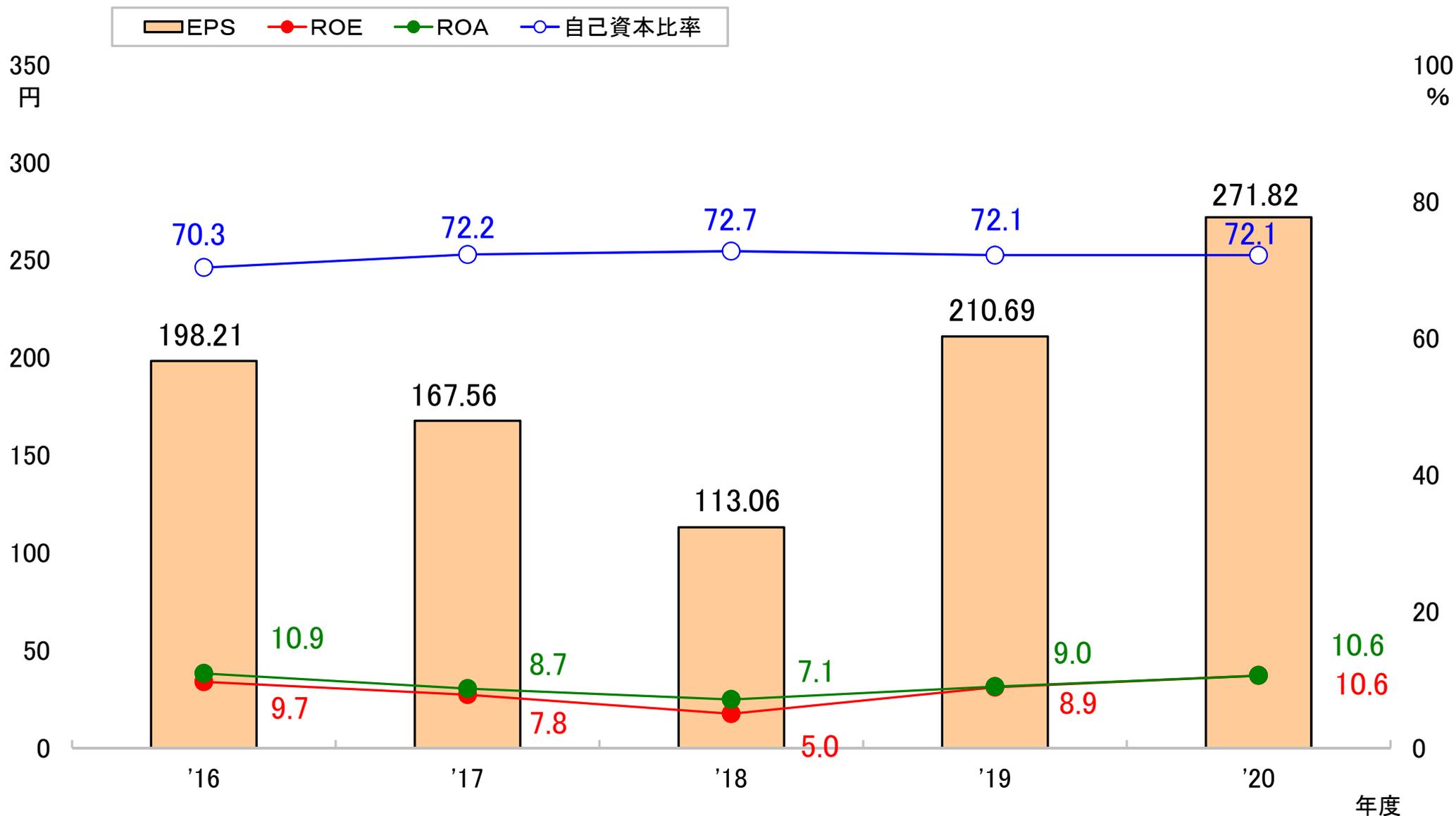
財務活動によるキャッシュ・フロー

前期に比べ、3百万円支出が増加し、443百万円の支出となりました。この結果、当期末の現金及び現金同等物の期末残高は、前期末に比べ2,019百万円増加し、6,701百万円となりました。

設備投資・減価償却費・研究開発費（連結）



主要経営指標（連結）

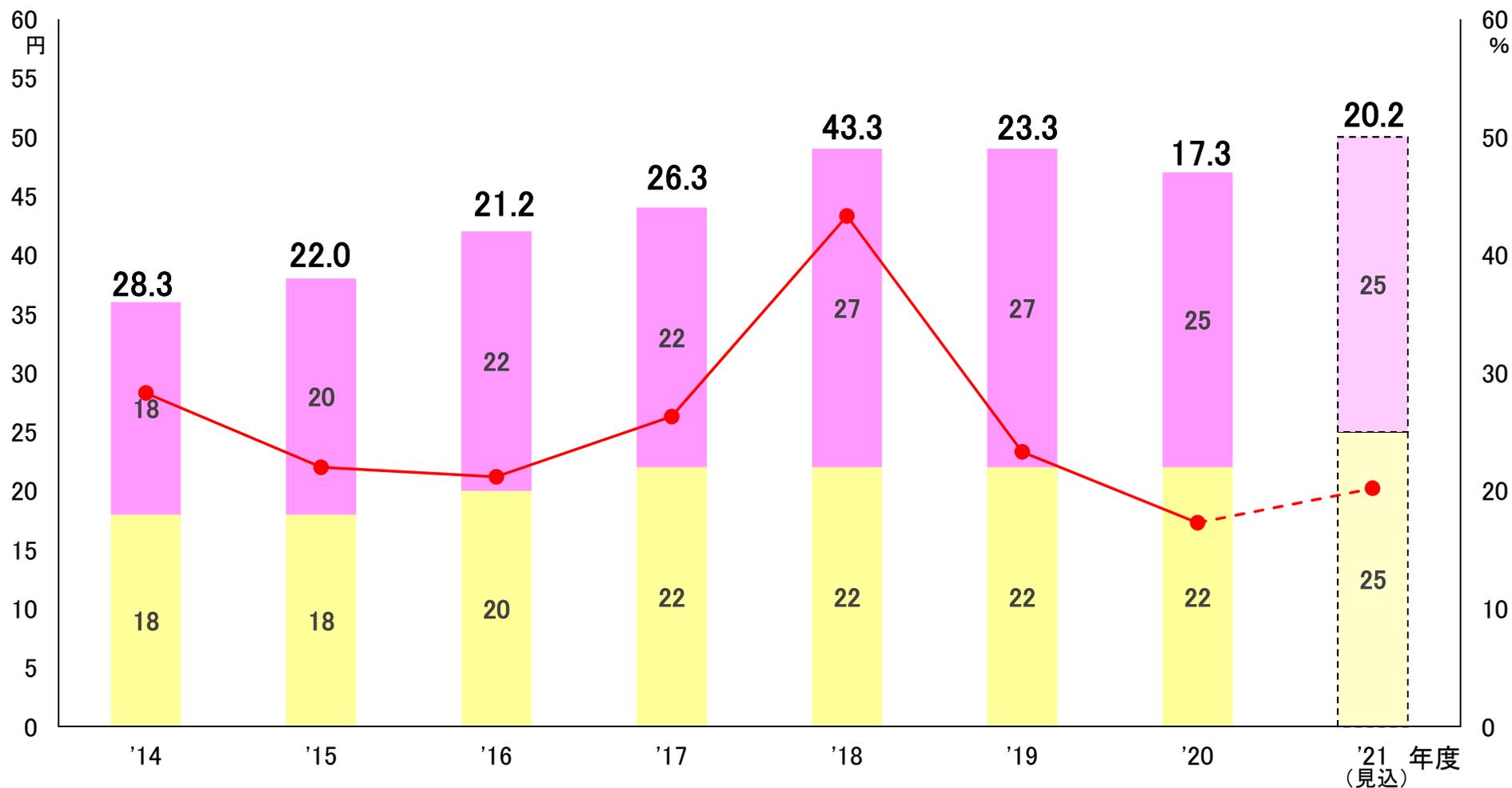


※EPSは、2017年10月1日付の株式合併に伴い、2016年度期首に株式合併が行われたと仮定して算出しています。

1株当たり配当金



■ 中間配当金 ■ 期末配当金 ● 連結配当性向



※表中の配当金額は2017年10月1日付の株式合併に伴い、2014年度の期首に株式合併が行われたと仮定して算出しています

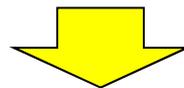
配当利回り(配当/株価)	2.8	3.1	3.5	2.7	3.2	3.1	2.7	2.5%
株価	636	610	596	1,615	1,525	1,556	1,692	1,951円

※株価: 日々の終値の平均。'21年度配当利回りは'21/3末終値(@1,951)で算出。配当性向: 配当/1株当たり純利益

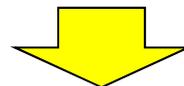
1. 2020年度通期業績
2. 今後の経営戦略

KVKグループを取り巻く事業環境

- 為替・材料価格・受注の変動
- 少子・高齢化→世帯数減少→新設住宅減少→他社との競争激化
- 量から質への住宅政策の転換
(住生活基本計画によるリフォーム需要後押し)
 - … リノベーションの時代到来
 - … 自然災害による住宅価値観の変化(省エネ・防災・耐震性など)
- 安全安心、健康、心地よさ、環境共生への関心の高まり



消費構造の変化、ニーズ・価値観の多様化で
新しい需要が創出され大きなチャンス



- お客様の新生活スタイルを提案する市場創造型の
商品・サービスづくり
- 変種・減量に対応できるモノづくり

付加価値の高い商品販売



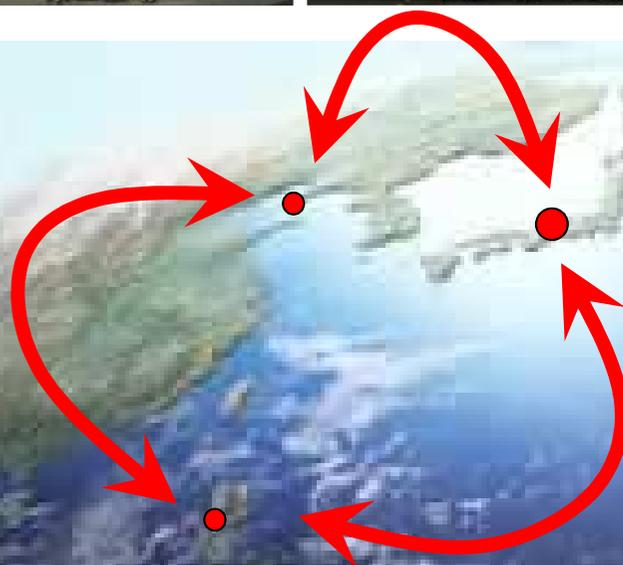
撥水仕様ラインアップ拡充

海外市場の販路拡充

中国・アジア市場の顧客基盤拡充・深耕
グローバルな最適地調達・最適地生産の構築



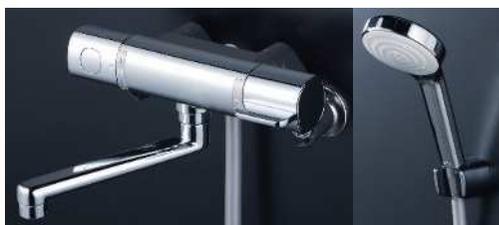
本社工場



ユーザーの豊かな生活に貢献する 付加価値の高い商品の開発



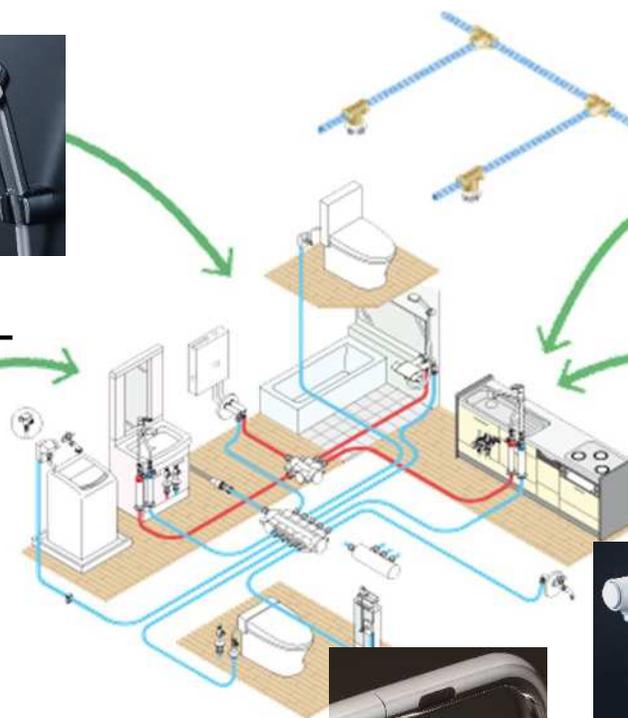
KF3060MB
オーバーヘッドシャワー付サーモ



FTB100KWFT
サーモスタット式シャワー



FSL150DEFT
シングルレバー式混合栓



加飾シリーズ
(サクラ)



KM6101ECM4K1



KM6061ECM4K1

シングルレバー式シャワー付混合栓



センサー式
浄水器付シングルレバー式シャワー付混合栓



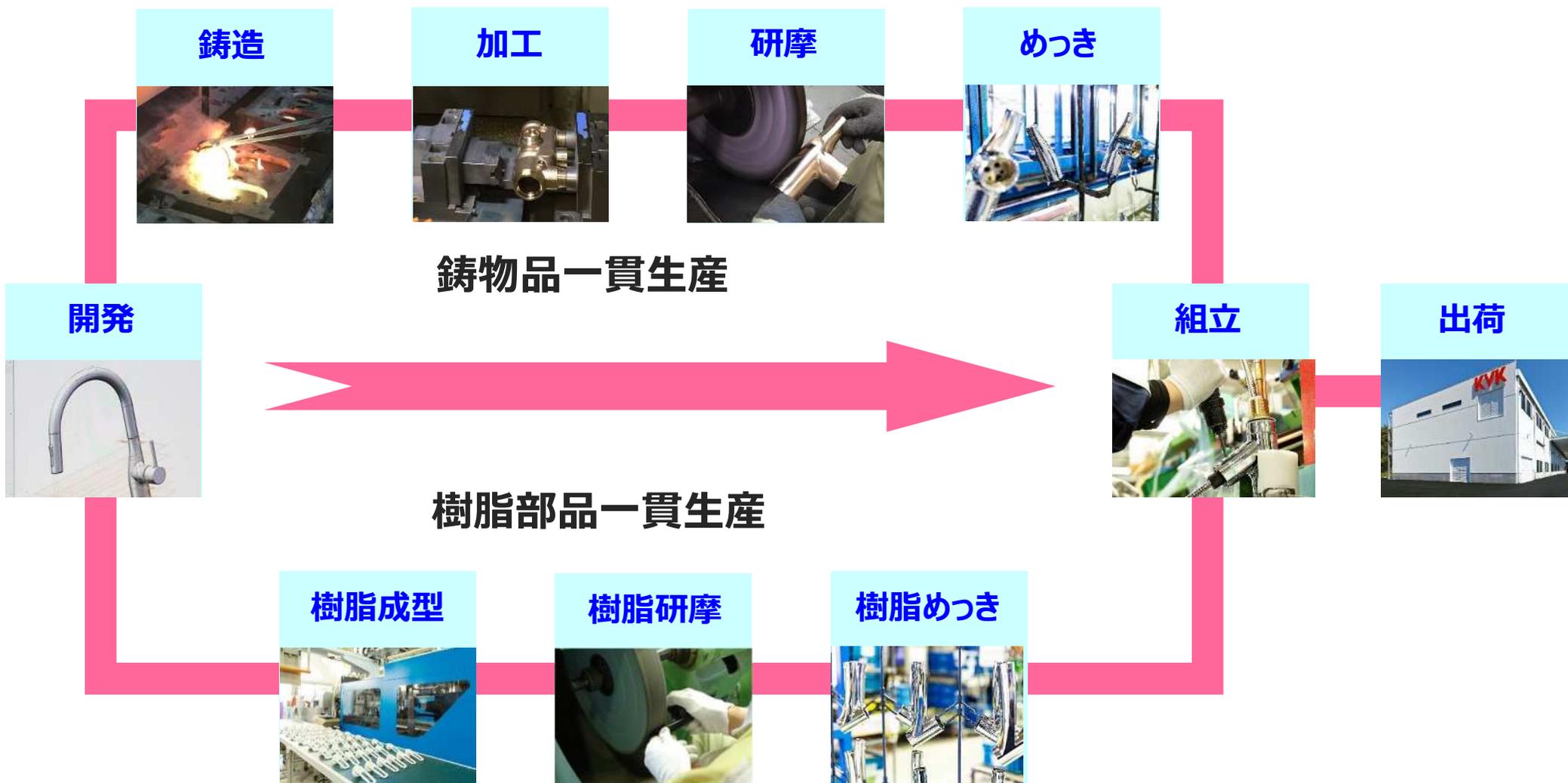
KM6131SCECM4

KM6131SCECM5

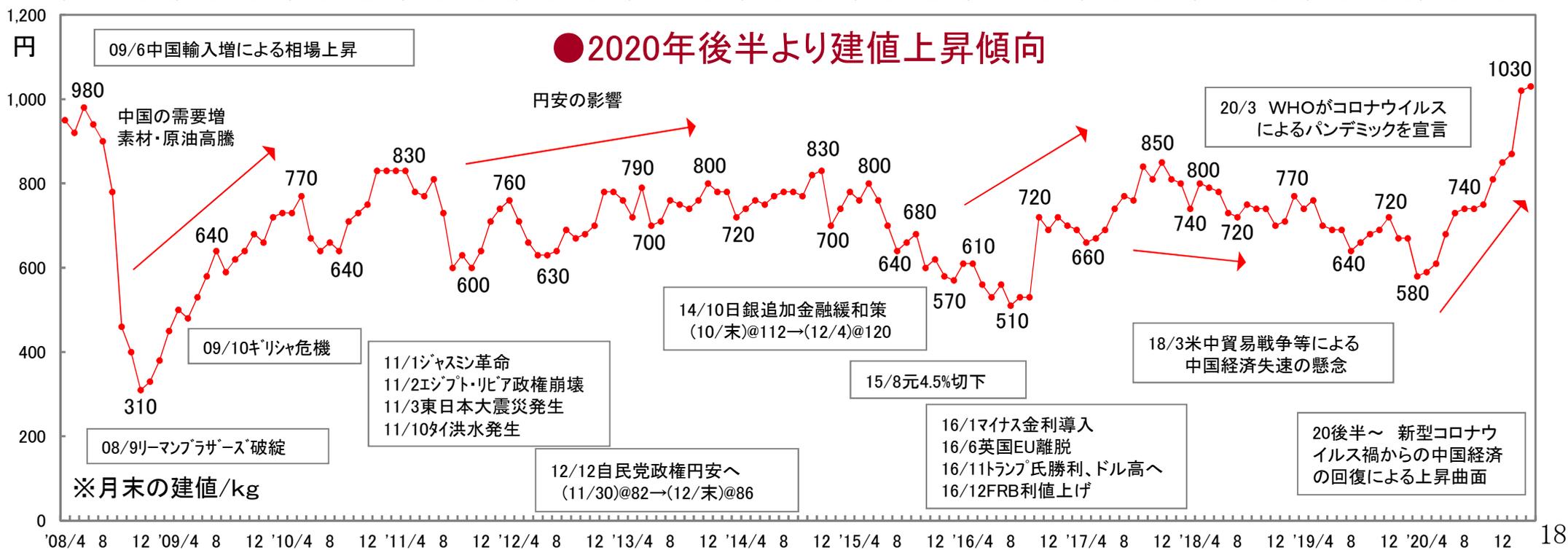
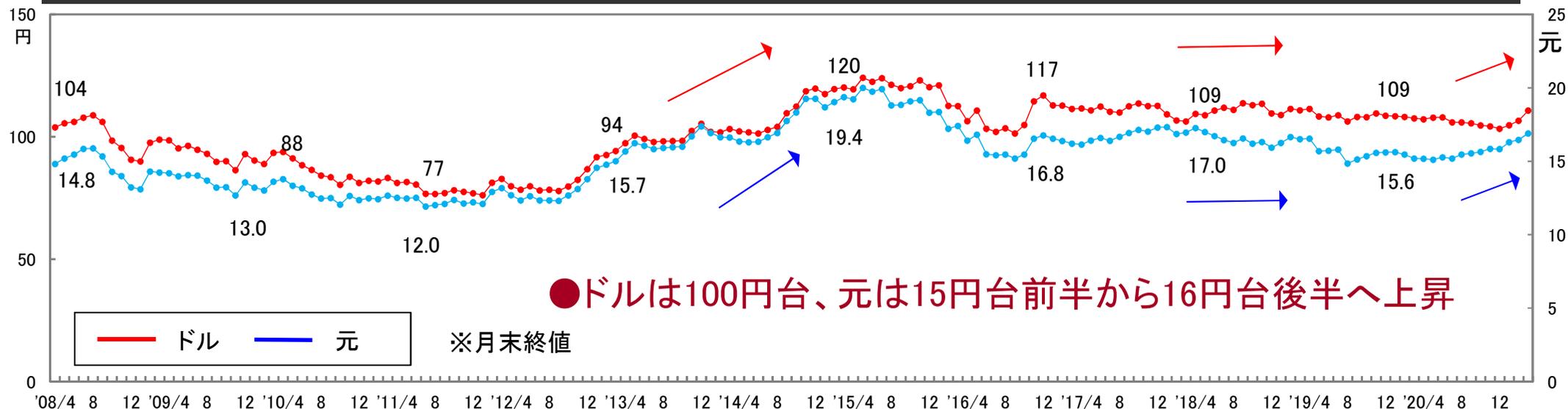
生産戦略・重点施策

KVK

本社工場一貫生産体制 + 工場直出荷



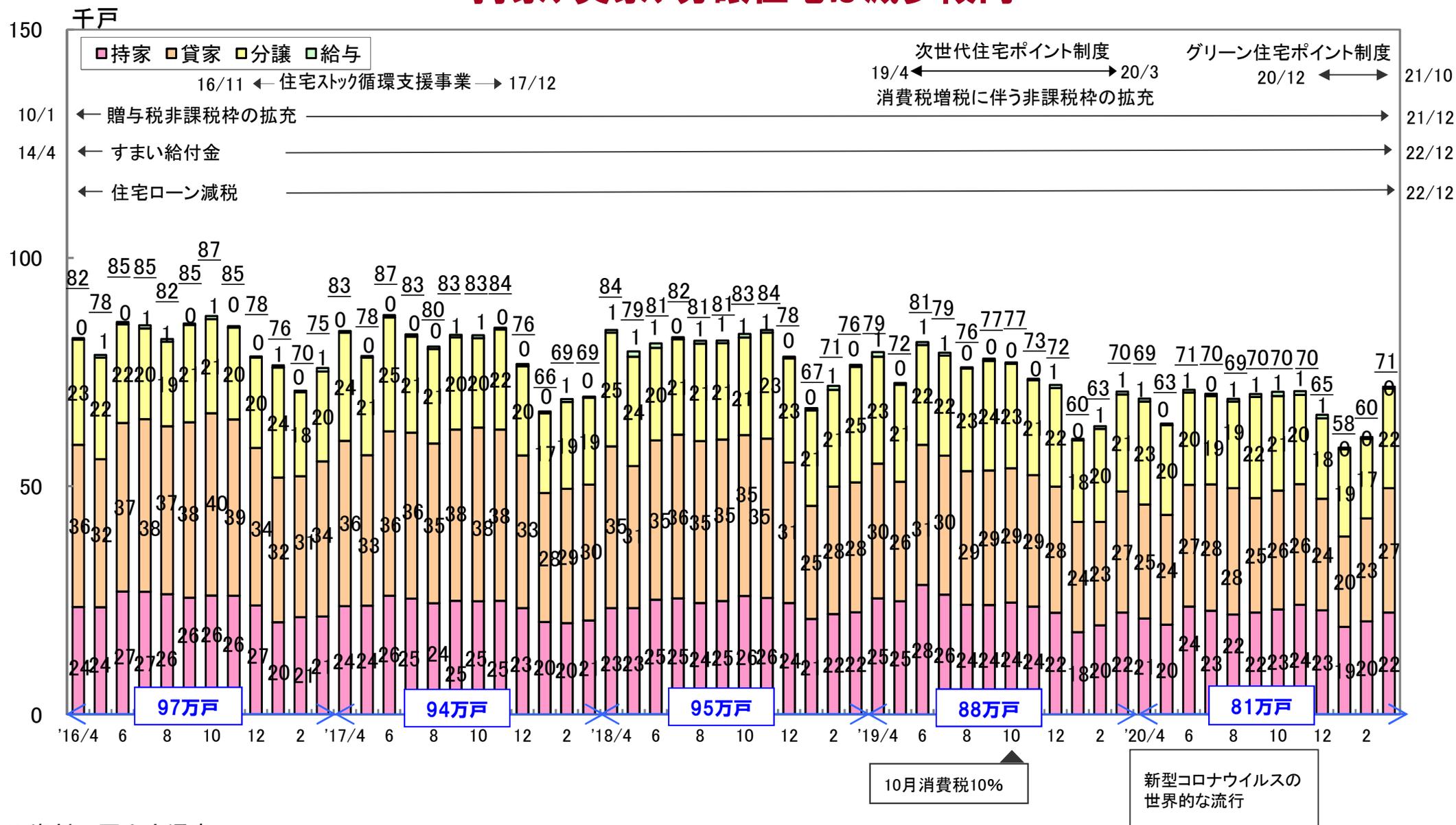
(市況) 為替・銅価格



(市況) 月別新設住宅市場



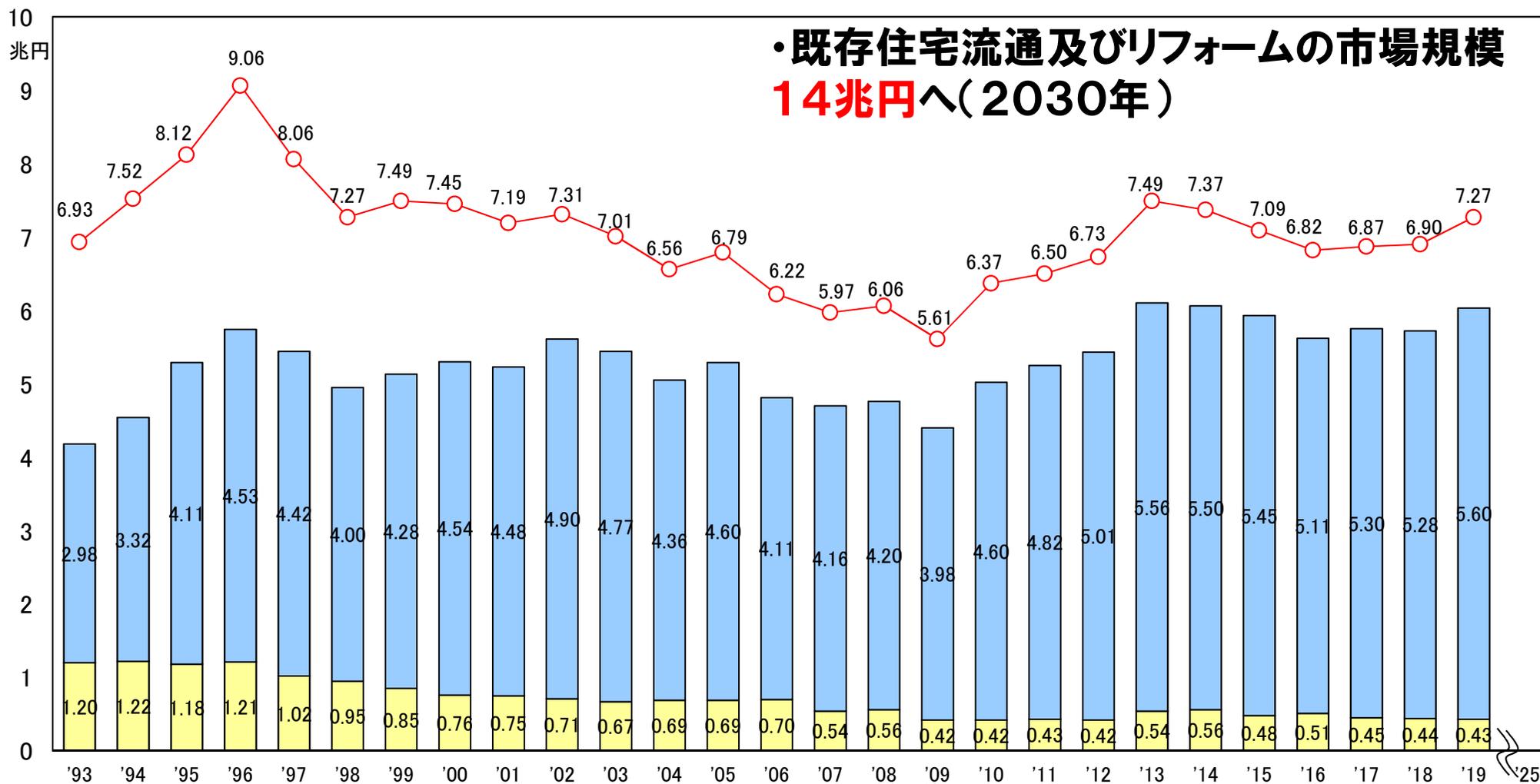
持家、貸家、分譲住宅は減少傾向



(市況) リフォーム市場

新住生活基本計画

■ 増築・改築工事費 ■ 設備等の修繕維持費 ○ 広義のリフォーム金額



※資料:国土交通省、(公財)住宅リフォーム・紛争処理支援センター

リーマンショックに伴う消費低迷の影響

KVK



**お客様とともに
“快適な水まわり”を創造する。**